

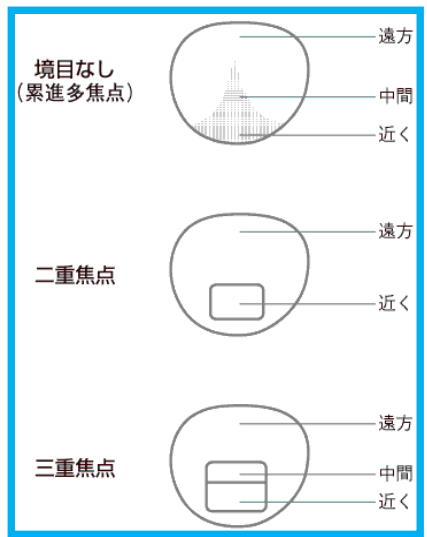
What's 老眼? ④

今回のフジタガンカニュースも、前号に引き続き「老眼」についての解説です。以下、日本眼科医会のホームページからの引用解説文です。前号の最後で「引用は終了」と書きましたが「私の勘違い」でした！すみません！もう少し引用が続きます…m(__)m

11.遠近両用メガネとは？

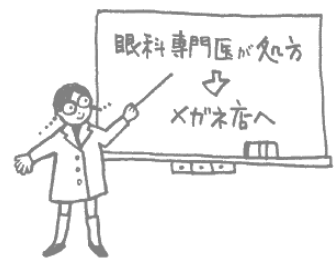
遠近両用メガネとは、メガネレンズの上の部分に遠くを見るレンズ、下の部分には近くを見るレンズが入っていて、視線を上下に動かすことによって、1つのメガネで遠くも近くも見えるという便利なメガネです。

遠近両用レンズ



中でも、累進多焦点レンズという上下のレンズの境目がないタイプに人気があり、外観が普通のメガネと同じため、他人から老眼鏡をかけていることに気づかれないという利点があります。しかし、遠くと近くを見ることが出来るレンズの範囲がそれぞれ狭いため、長時間近くのものを見つづける作業には、向かないことがあります。

そのような場合には近く専用の老眼鏡と使い分けた方がいい場合もありますので、使い道をよく相談した上で処方してもらった方がいいでしょう。
また、ある程度なれるのに時間がかかりますので、累進多焦点レンズは50歳ごろまでに常時着用されることが望ましいと思われま



12.メガネは処方箋をもって眼鏡店で

老眼鏡を作るときには、患者さんの目や使用目的にあった正確なメガネを眼科専門医に処方してもらうことがまず大切です。自分の目にきちんと合っていない老眼鏡を使うと、眼精疲労の原因になったりします。まず最初に眼科に行き、処方を書いてもらってから眼鏡店で作ってください。

眼鏡店では、技術者が、処方箋を元に目の位置や顔の形にきちんと合ったフレームを選択し、適切な老眼鏡を作成してくれます。

13.目が疲れない照明も大切

せっかく適切な老眼鏡を作っても、読書などをする際にきちんとした照明を用いていないと字が読みづらく、眼精疲労の原因になったりします。老眼鏡を用いて読書などの近くを見る作業をするときには、照明にもちゃんと気を配るようにしましょう。

具体的には天井灯と電気スタンドを併用して、部屋の中全体と見るものの両方を明るくすること、部屋の照明はあかりの均一な蛍光灯を用いること、部屋の明るさは六畳で80~100ワットくらいを目安にするとよいでしょう。



ここまでで、今回号の引用は終了です。「メガネは処方箋をもって眼鏡店で」というのは正論なんですが…この場合の「眼鏡店」は、「確かな技術と経験値を持った技術者が常駐している眼鏡店」という意味合いでして…昨今の廉価販売の眼鏡店の台頭を思うと「あらゆる眼鏡店の技術者が同等の技術を持ち合わせているという事は無い」のです。詳細については「フジタガンカニュース」バックナンバーのVol.36-37をご参照下さい。また原則、当院では「メガネの院外処方箋の発行」を行っていません。ご理解のほどお願い致します m(__)m 最後には、最近流行りの「老眼手術」についての「藤田の個人的な意見」も述べてみたいと思っておりますので、お楽しみにー。では続きは次号で…

今月のお知らせ



現在、当院にて非常勤の先生が診察を担当する日程は①毎水曜午後を朝岡亮先生(東京大学眼科講師・専門：緑内障)②第1・3(・5)週目の土曜を小竹修先生(八王子医療センター・専門：網膜疾患)です。

<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

① **042 (645) 0575**
② **042 (642) 2911**